

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ数
視能訓練士	2名
歯科衛生士	3名

<視能訓練士>

—概要—

救命センターに搬送された頭部外傷などによる眼窩底骨折や脳疾患に対する患者の検査、全身疾患に関連する眼科検査、入院中の眼症状や眼疾患のある患者の検査などを行っている。

また、健診や人間ドックをはじめ、航空身体検査やVDT検査などの特殊な眼科健診も行っている。

検査項目は、視力検査、屈折検査、眼圧検査、視野検査、眼位・眼球運動検査、視神経検査、眼球突出度検査、両眼視機能検査、調節検査、色覚検査、網膜電図検査、角膜形状解析検査、角膜内皮検査、眼底写真撮影検査、眼底3次元画像解析検査などである。

—今年度の成果と反省点—

他科からの急な検査依頼を可能な限り受け入れできた。

健診に待ち時間が発生したので、関係部署と調整し、改善した。

—来年度への抱負—

引き続き、円滑に検査の受け入れができる体制を作り、必要な検査の組み立てを行い、患者に負担がかからないように、効率よく検査する。

<歯科衛生士>

—概要—

泉州地域の中核病院である、りんくう総合医療センターで顎・口腔領域の外科を専門とする口腔外科に従事している。専門的な知識と経験が必要な口腔疾患管理を行っている

口腔外科歯科医師の指示のもと、

- (1) 一般歯科医院での治療が困難な患者の診察や外来小手術の診療補助
- (2) 入院患者の歯科治療(応急処置に限る)の診療補助、専門的口腔ケア
- (3) 全身麻酔手術や化学療法、放射線療法を受けられる患者の口腔衛生指導、専門的口腔ケア(周術期等口腔機能管理)
- (4) 周産期センターにおける両親学級での口腔衛生指導
- (5) 地域の医療機関との連携体制において、外来小手術の予約
- (6) 事務処理など医療秘書業務も兼任している

専門的口腔ケアは歯科疾患の予防や治療のみならず、周術期の術後感染や誤嚥性肺炎の予防、口腔粘膜炎の予防や軽減効果があげられる。それにより術後在院日数、術後合併症の予防、医療費削減などに寄与できる。

いずれにおいても多種多様な全身疾患や不安など、心の問題を抱えている患者に配慮しながら、より良い医療を提供するよう努めている。

—今年度の成果と反省点—

口腔機能管理の必要性が重視される中、今年度は歯科衛生士の増員によって漸く実施できる体制となってきた。まだまだ口腔機能管理の実績件数が少なく、術後感染や術後肺炎予防、口腔粘膜障害予防の結果を示せていない。

更なる各診療科との連携、地域の医療機関との連携強化も必要である。

—来年度への抱負—

今後も他科からの周術期口腔機能管理の依頼件数増加が見込まれるため、実績件数増加のためにも診療室の拡充と歯科衛生士の体制強化を目指したい。

「チーム医療」の一員として、がん患者を口腔ケアで支援していきたい。